



麻布幼稚園だより 11月号

令和元年10月31日 港区立麻布幼稚園 園長 藤田 智子

『 祝 麻布幼稚園85歳 』

園長 藤田 智子

好天に恵まれた麻布幼稚園の親子運動会、元気いっぱいの子どもたちの笑顔が輝く嬉しい一日となりました。

年少組の子どもたちにとっては、初めての運動会でした。繰り返して楽しんできたかけっこでは、当日も、「よーい、どん！」の合図を聞いて、思い切り走る楽しさを味わいました。

年中組の「お魚いっぱい！」の表現では、海のいろいろな生き物に変身して、学級のみんなどで考えた動きの表現を楽しみました。未就園児競技では、自分たちで作ったプレゼントバッグを渡す係に張り切って取り組みました。

年長組の子どもたちは、友達と一緒に頑張れる、挑戦できる経験をしながら運動会に向けての活動に取り組んできました。はじめは、自分と同じ走順の友達との競争を楽しむという個の取り組みだったリレー。同じチームの友達みんなと力を合わせないと勝てないことを感じ、順番を相談したり、作戦を立てたり、チームの友達を応援したりして取り組むようになりました。

運動会当日は、それぞれの学年の子どもたちが今までの取り組みの成果を発揮しながら力いっぱい取り組み、それぞれにやり遂げた満足感、充実感が味わえたことを感じました。閉会式でメダルやカップを受け取った時の子どもたちの誇らしげな表情が印象的でした。

運動会後にいただいた保護者の方々の感想から、子どもたちの成長を共感できたこと、園の教育にご理解いただけたことを大変嬉しく思いました。また、ご自身のお子さんの成長だけでなく、園の子どもたちの成長や他学年の子どもたちの頑張っている姿を喜んでくださった内容が多かったことも、嬉しいことでした。懸案事項については、次年度のよりよい運営に向けて話し合い、必要な点については改善していきたいと思えます。

運動会委員の皆様、会場の準備・片付けにご協力くださいました保護者の皆様、ありがとうございました。

運動会の中でもふれさせていただきましたが、麻布幼稚園は今年開園85周年を迎えます。昭和9年の開園から85年、長い歴史の間には、戦争による休園、園名の改称、学級数の変化など、いろいろな出来事や変化があったことが園の記録に残されています。これまで麻布幼稚園の教育にご尽力くださいました方々をはじめ、地域の皆様に見守られながら歴史を重ねてきた麻布幼稚園。未来の麻布幼稚園も、今と同様に子どもたちの笑顔が輝く幼稚園であることを願い、より良い歴史の一部となるよう、“今”の麻布幼稚園の教育を充実させていきたいと強く感じます。11月22日の開園記念日には、子どもたちとともにお祝いしたいと思います。

さて、開園から41年後の昭和50年には園歌が制定されました。「♪とうきょうタワーがみつめています あかるいみんなをみつめています♪」の歌詞で始まる麻布幼稚園の園歌。日々、東京タワーを見つめているつもりでしたが、実は、麻布幼稚園の子どもたちは東京タワーに見つめられていたのです。園歌の制定は、昭和33年の東京タワーの竣工から17年後のことになります。現在、東京タワーがどのような感じで麻布幼稚園と幼稚園の子どもたちを見つめてくれているのかが気になり、先日、東京タワーに上ってきました。エレベーターで上がった150mのメインデッキからは、麻布幼稚園の増築棟の2階保育室の3つの窓から上の部分と外階段の一部が見えました。さらに250mのトップデッキまで上ると、園庭も見え、園庭の木々の間からは既存棟の一階部分も見えました。250mのトップデッキに上るトップデッキツアーには写真撮影も含まれており、その写真の背景には、麻布幼稚園が写ります。現在、園の周りの再開発事業が進み、いつまで東京タワーに見つめてもらえるのかが気になるころではありますが、地域の皆様に見守られ、東京タワーに見つめられながら麻布幼稚園の歴史を重ねていくことができることに日々感謝しています。

11月の麻布幼稚園も、どうぞよろしく願いいたします。